

25 社盛医発第 8 号
平成 25 年 4 月 5 日

各医療機関院長 殿

盛岡市医師会
会長 和田 利彦

中国における鳥インフルエンザ A (H7N9) の
患者の発生に関する通知の送付について

標記について、別添のとおり、岩手県医師会を通じて厚生労働省から通知がありましたのでお知らせいたします。

なお、通知によると、情報提供を求める患者の要件を、

38 度以上の発熱と急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺病変（例：肺炎又はARDS）が疑われる者であり、発症前 10 日以内に中国に渡航又は居住していた者。

但し、他の感染症によること又は他の病因が明らかな場合は除く。

としております。

つきましては、要件に該当する方を診察された場合は、下記までにご連絡をお願いいたします。

盛岡市保健所 保健予防課

TEL : 603-8308 FAX : 654-5665

送付書類

1. 中国における鳥インフルエンザ A (H7N9) の患者の発生について
(情報提供及び協力依頼)

厚生労働省健康局結核感染症課

以上

健感発 0403 第 3 号
平成 25 年 4 月 3 日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

中国における鳥インフルエンザ A（H7N9）の患者の発生について
（情報提供及び協力依頼）

先般、別添 1 のとおり、中国における鳥インフルエンザ A（H7N9）に感染した患者の発生を、WHO が発表した旨お知らせしたところですが、別添 2 のとおり WHO が作成した本疾患に関する Q&A の仮訳を作成しましたので、本件について関係者への周知方をお願いします。

また、貴管内医療機関に対して、下記の要件に該当する患者を診察した場合の保健所への情報提供について、協力依頼をお願いします。医療機関から情報提供があった場合には、その内容について当課までご連絡ください（様式任意）。

そのほか、下記の要件に合致する患者の診療に当たっての標準予防策の徹底についても周知方をお願いします。

なお、本通知による依頼の終了については、別途、通知します。

記

（情報提供を求める患者の要件）

38 度以上の発熱と急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺病変（例：肺炎又は ARDS）が疑われる者であり、発症前 10 日以内に中国に渡航又は居住していた者。

但し、他の感染症によること又は他の病因が明らかな場合は除く。

参考資料

別添 1：中国で鳥インフルエンザの患者が発生しました（検疫所ホームページ）

<http://www.forth.go.jp/topics/2013/04021128.html>

別添 2：WHO 作成 鳥インフルエンザ A（H7N9）に関する Q&A（厚生労働省仮訳）

2013年04月02日更新 中国で鳥インフルエンザの患者が発生しました

4月1日付けで公表された世界保健機関（WHO）の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は3月31日、インフルエンザA（H7N9）に感染した患者が3人発生したとWHOに報告しました。患者は3月29日に中国の疾病予防管理センターで実施された検査で確定されました。インフルエンザA

（H3N2）、インフルエンザA（H1N1）pdm09、インフルエンザA（H5N1）、新種のコロナウイルスの検査も実施されましたが、いずれも陰性でした。

患者は上海市で2名、安徽省で1名発生しました。患者は3人とも重症の肺炎と呼吸困難を合併した呼吸器感染症を発症しました。発症日は2月19日から3月15日までの間でした。患者のうち2人は死亡し、1人は現在重篤な状態にあります。

これまでのところ、患者の間に疫学的な関連は確認されていません。接触者の経過観察を含む調査が行われています。現時点では、経過観察中の88人の接触者から新たな患者は発生していません。

感染源と感染経路に関する調査が進められています。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、サーベイランスの強化、検査体制の強化、検査・報告・治療に関して医療専門家のトレーニングを行っています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。新しい情報が入手されれば、情報が更新される予定です。

中国に滞在する方は、今後の情報に注意していただくとともに、鳥がたくさんいる場所で鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。

出典

WHO Global Alert and Response

H7N9 avian influenza human infections in China

http://www.who.int/csr/don/2013_04_01/en/index.html

2013年4月2日更新

WHO（世界保健機関）

中国におけるヒトの鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルス感染に関する Q & A

1. A（H7N9）について心配なことはなにか？

インフルエンザウイルスの多くは、動物（ブタや鳥類など）固有のウイルスであり、通常、種の壁を越えて感染することはありません。今般、鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスのヒトへの感染事例が初めて報告されたことから懸念されています。更新情報についてはWHOのDisease Outbreak Newsを参照してください。

2. 鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスはヒトからヒトに感染するか？

現時点では、感染が確定した患者間や、患者との接触者の中で、ヒトからヒトに感染したという形跡はありません。引き続き、ヒト-ヒト感染を含む、全ての考えられ得る感染源について調査することとしています。発生の規模や、感染源、感染経路、最適な治療法および必要な感染予防対策や管理措置について、さらに調査を進め、動向を注視することは、さらなる患者の発生を確認する上で非常に重要だと考えています。

3. この感染は、最近、上海周辺の河川に16,000匹以上のブタの死骸が廃棄されたことと関係があるのか？

死んだブタも調査対象の一部ですが、その関連性は証明されていません。

4. 鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスは、一般国民にもリスクがあるのか？

現時点では、感染が確定した患者間や、患者との接触者の中で、ヒトからヒトに感染したという形跡はありません。中国の一般国民や国外の人々に対する鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスのリスクは、現在、調査中であり、情報が明らかになり次第、提供される予定です。

5. これまでにどのような対策を講じたのか？WHOはどんな支援をしているのか？

中国政府は以下の対策を講じているところです。

- ・サーベイランスの強化
- ・患者の管理と治療の強化

- ・疫学調査と濃厚接触者の追跡
- ・検査室機能の強化
- ・医療従事者の教育とガイドラインの発行
- ・コミュニケーションの向上

ヒトのA（H7N9）感染事例は、今回、初めて報告されたことから、WHOとしても重く受け止めています。WHOは、状況をより確実に把握するために、各国の当局と密接に連携するとともに、新たに重要な情報が入手できた際は共有することとしています。

6. 個人として、鳥インフルエンザA(H7N9)への感染を予防するにはどうしたらよいか？

A（H7N9）だけではなく、多くの感染症の伝播を予防するためには、衛生に気をつけるという基本的な習慣や、食品を安全に取り扱うことが必要不可欠です。

- 食品を扱う前後およびその間、食事の前、トイレの後、動物やその排泄物に触れた後、手が汚れているときなど、頻繁に手洗いを行いましょう。家庭内に病気の人がいるときには特に入念に行いましょう。
- 医療現場では、他の患者や医療従事者への感染を予防するためにも、手洗いは必須です。病原体は手洗いによって物理的に洗い流すことができます。またアルコール消毒も有効です（病原体を死滅させます）。
- 咳やくしゃみをする際には、口と鼻をハンカチやティッシュで覆いましょう。
- 高病原性の鳥インフルエンザウイルスが存在する可能性のある場所では、ウイルスのついた手指から鼻・口・結膜などにウイルスが付着するのを防ぐため、手指の衛生（手洗いとアルコール消毒剤の使用等）は非常に重要です。

WHOの原文はこちら：

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/faq_H7N9/en/